

0760 | 映像メディア表現II

2単位（通信授業1単位、面接授業1単位）

牧野良三教授、山内道彦講師

授業の概要と目標

映像メディア表現IIは写真を使った映像表現を面接授業課題と通信授業課題2つの制作課題を通して学びます。写真は私達にとって大変身近なメディアです。デジタルカメラの普及と更に携帯電話等の様々なモバイル機器にもカメラの機能が搭載されて、写真を使ったコミュニケーションは日常化しています。写真は私達の生活で益々不可欠なメディアになっています。その一方で写真の表現自体は貧弱なものが少なくありません。このような状況にあって写真表現というものを改めて考え直しながら学ぶことは今日の美大生にとって有意義だと考えられます。本科目では写真を撮ることと見ることを通して日常で撮る写真とは違う写真を学び、写真で映像表現をする基礎的な思考を得ることを目標とします。

課題の概要

○面接授業課題

セルフポートレート（自画像）を撮影して、16枚の写真で構成した作品を制作します。

○通信授業課題

以下の言葉の中から1つ言葉を選んで、4枚の連続する写真で言葉を表現する作品を制作します。

日本人・21世紀・宇宙・たまご・携帯・東京・光と影・男と女・^{にわかあめ}驟雨・宗教・黙示録
時空・鍵・ブラックホール・IT・^{あまいろ}亜麻色・親と子・境界・原子力・^{ゼロ}0・^{こち}東風・夢

*課題の詳細は学習指導書『映像メディア表現II 平成29年度』を参照してください。

授業計画

面接授業



通信授業

学習の順序は面接授業課題を合格してから通信授業課題に進んでください。

[面接授業]

面接授業を受講する前に学習指導書の内容をよく読み、可能ならば実際に自画像を撮ってみてカメラの操作などを事前に確認しておいてください。更に作品のアイデアを幾つか考えておくことが望まれます。また撮影で着る服やその他必要な小道具などがあれば用意してください。

第1日 午前 前半：前提講義。学生の参考作品などを紹介しながら課題制作の手順と本科目の学習に必要な基本知識の手引き。

第1日 午前 後半：クラスに別れて習作（コラージュ）を制作。
午後：習作（1枚の自画像）を制作

第2日 午前、午後：本作品の制作

第3日 午前：本作品の制作（写真のレイアウトと仕上げ作業）。

午後：作品のプレゼンテーション、ディスカッションと学生による作品の評価、講評（採点）。

[通信授業]

学習指導書の内容をよく読み、また面接授業で学んだ内容を確認してから制作に取り組んでください。

- 1：言葉を選び言葉の意味を確認する。
- 2：言葉から映像をイメージする。
- 3：絵コンテの制作1（イメージを基に絵を描くラフな絵コンテ）。
- 4：撮影1（絵コンテを基に写真撮影をする）。
- 5：コンタクトシートの制作と写真の確認。
- 6：撮影2（先の写真の結果から、写真の特徴を考えた撮影を心掛ける）。
- 7：作品のテーマと表現方法の決定（5、6を繰り返してテーマと表現方法を見つける）。
- 8：写真の選択と印刷（作品に係わる写真を選んで印刷する）。
- 9：映像構成と作品の仕上げ（時間軸に沿った映像進行を考えて写真を配置する）。
- 10：絵コンテの制作2（最終作品を元に改めて提出するための絵コンテを制作する）。
- 11：作品のテーマと意図について分かり易い文章で書く。

成績評価の方法

面接授業と通信授業の評価の平均点とします。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問いません。

教材等

面接授業時に教員から必要に応じて配付。参考作品などはスライドや他の機器を使用して解説します。
学習指導書：『映像メディア表現Ⅱ 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）